

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

平成25年(2013年) 第 14 週

(4月1日～4月7日)

発行年月日:平成25年(2013年)4月12日
 発行 滋賀県感染症情報センター
 滋賀県衛生科学センター 健康科学情報担当
 電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548
 e-mail: ef4505@pref.shiga.lg.jp

◆ 風しんが10週以降、毎週報告されています

★全数報告感染症の発生状況

- ・一類感染症--- 報告はありません
- ・二類感染症--- **結核 2名** (無症状病原体保有者2名)
- ・三類感染症--- 報告はありません
- ・四類感染症--- 報告はありません
- ・五類感染症--- **劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名** (死亡)
後天性免疫不全症候群 2名 (病型:AIDS, 性別:男性, 年齢:40代のうち1名は12週に診断)
侵襲性肺炎球菌感染症 1名 (性別:男性, 年齢:60代)
風しん 4名 (年齢・性別:30代・男性 2名, 10代・女性 1名, および13週に診断 50代・男性 1名)

★定点把握の対象となる五類感染症の発生状況

- ・定点患者報告総数は、今週は511名で、先週(765名)より減少しています。
- ・インフルエンザの患者数が9週連続して減少しており、今週は先週より144名減少しています。
- ・感染性胃腸炎は徐々に減少しています。
 (週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。
- ・インフルエンザ入院サーベイランスは、4名の届出がありました。年齢別では、10歳未満が2名、10歳代1名、および80歳以上1名で、性別では男性3名、女性1名でした。

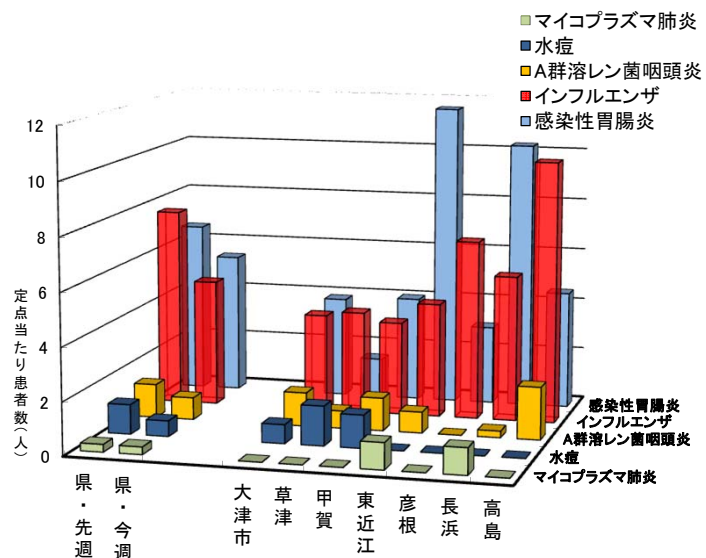
警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は下記のとおりです。

(「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」より)

注意報--- インフルエンザ (注意報発生基準値 10) 高島保健所管内



上位疾患の保健所管内別発生状況(第14週)



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎 ②インフルエンザ ③A群溶レン菌咽頭炎 ④水痘 ⑤RSウイルス感染症 の順です。

インフルエンザ----- 高島以外の保健所管内で先週より減少しています。高島では定点当たりの患者数が先週 **4.57**でしたが、今週は注意報発生基準値(10)の**10.00**となっています。

感染性胃腸炎----- 県全体では減少傾向を示していますが、東近江では定点当たりの患者数が先週 **7.40**でしたが、今週 **11.60** が増えてい

1. 全数報告感染症の週別および累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している一～四類および五類感染症の発生状況を把握することができます。主に滋賀県で報告がある感染症や全国で報告数がある疾病を対象に週および累積報告数を記しています。

分類	疾病名	滋賀県				全国	平成24年累計*	
		12週	13週	14週	累計	累計	県	全国
		3/18~	3/25~	4/1~	~4/7	~4/7		
二類	結核	4	6	2	70	6,192	254	28,951
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	32	0	241
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	174	37	3,765
	バラチフス	0	0	0	0	17	0	24
四類	E型肝炎	0	0	0	0	38	0	119
	A型肝炎	0	0	0	0	44	1	158
	オウム病	0	0	0	0	1	0	8
	つつかが虫病	0	0	0	0	33	1	436
	デング熱	0	0	0	0	39	2	221
	マラリア	0	0	0	0	14	2	73
	レジオネラ症	0	0	0	0	167	10	898
	五類	アメーバ赤痢	0	0	0	1	245	13
ウイルス性肝炎	0	0	0	0	56	4	235	
急性脳炎	1	1	0	2	127	3	361	
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	41	2	183	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	1	0	57	3	243	
後天性免疫不全症候群	1	0	1	6	335	9	1,427	
ジアルジア症	0	0	0	0	14	1	72	
梅毒	0	0	0	1	254	1	891	
破傷風	0	0	0	0	20	0	117	
侵襲性肺炎球菌感染症**	-	-	1	1	16	-	-	
風しん	4	3	3	14	3,480	12	2,391	
麻しん	0	0	0	1	89	1	285	

※：感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成25年3月現在)
 ※※：平成25年4月1日から対象感染症として追加された感染症

2. 定点把握の対象となる五類感染症の保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。(患者報告数=定点当たり患者数×定点数)

定点区分	疾病名	滋賀県		保健所別(14週 4/1~4/7)						
		13週	14週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ	インフルエンザ	7.57	4.85	3.73	3.90	3.57	4.38	6.86	5.57	10.00
小児科	RSウイルス感染症	0.06	0.13	0	0	0	0.60	0.25	0	0
	咽頭結膜熱(プール熱)	0.25	0.22	0	0.17	0	0.40	0	0	2.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.28	0.84	1.29	0.67	1.25	0.80	0	0.25	2.00
	感染性胃腸炎	6.56	5.38	3.86	1.50	4.00	11.60	3.00	10.25	4.50
	水痘	1.13	0.59	0.71	1.50	1.25	0	0	0	0
	手足口病	0.25	0.28	0	0	0	0.40	0	0.75	2.00
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0
	突発性発しん	0.41	0.28	0.29	0.17	0.25	0.60	0.25	0.25	0.00
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0.09	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.50	
眼科	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	0	0.13	0.50	0	0	0	0	0	0
基幹	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0	0	0	1.00	0	1.00	0
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	インフルエンザ(入院)**	1.00	0.57	0	0	1.00	0	1.00	1.00	1.00

*：平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています
 青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

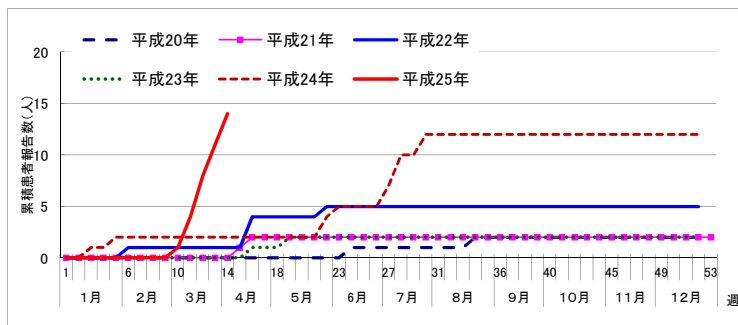
3. その他

(1) 風しんの発生状況

- 滋賀県では10週(3月4日～)から風しんが報告されています。全国では、6週(2月4日～)から報告が増えています。
- 今週(14週)の時点で平成25年第1週からの累積患者数は14名となり過去5年間で累積患者数が多かった昨年の12名を超えています。
- 年齢階級別では35歳～50歳が半数以上を占めています。
- 性別では、男性が全国で78.5%、滋賀県では92.9%で、男性がほとんどを占めています。
- ワクチン接種歴は、滋賀県で報告されている患者では、診断2週間前に接種した1名以外は、不明または接種歴がありませんでした。

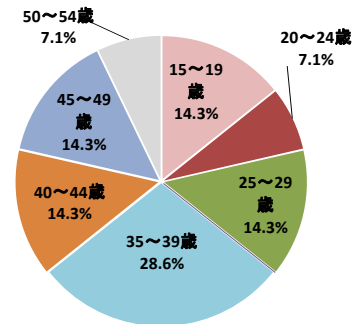
① 風しんの年次別累積報告数(滋賀県)

(平成20年第1週～平成25年第14週、2007.12.31～2013.4.7)

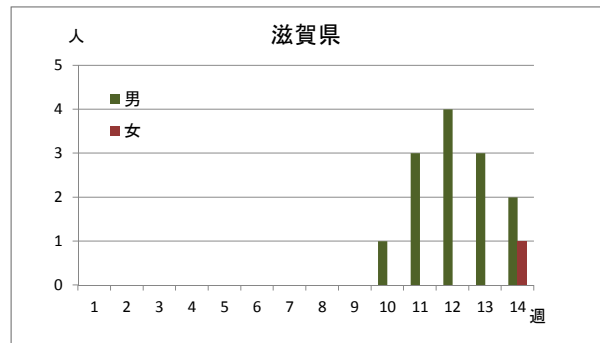
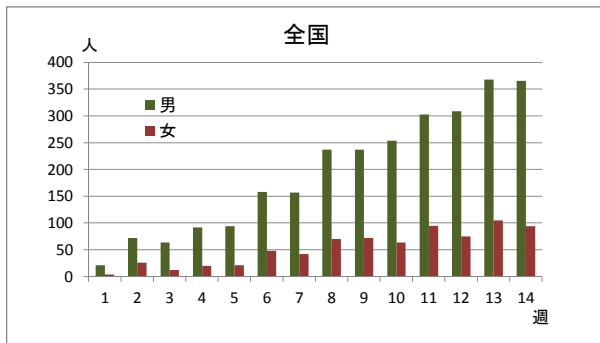


② 年齢階級別の患者割合(滋賀県)

(平成25年第1週～第14週)



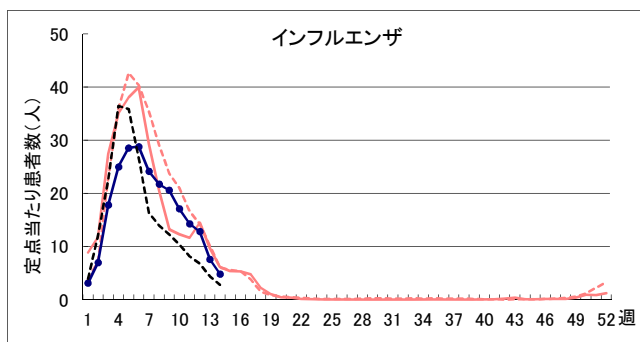
③ 風しんの週別・性別の報告数(平成25年第1週～平成25年第14週、2013.12.31～2013.4.7)



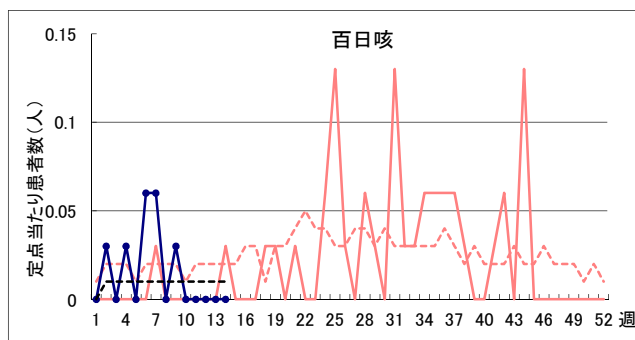
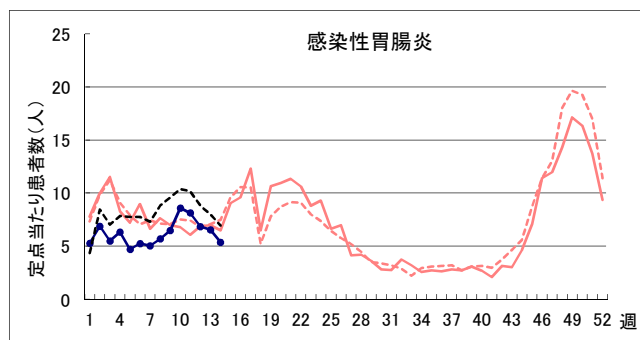
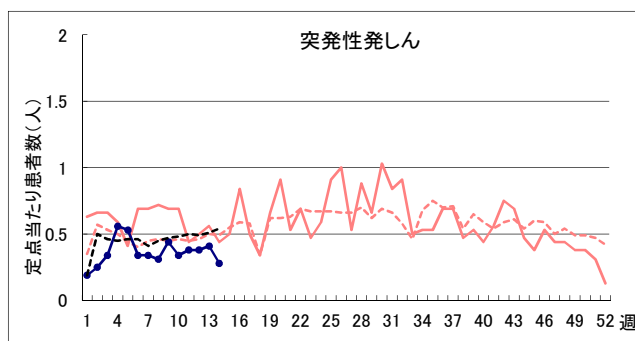
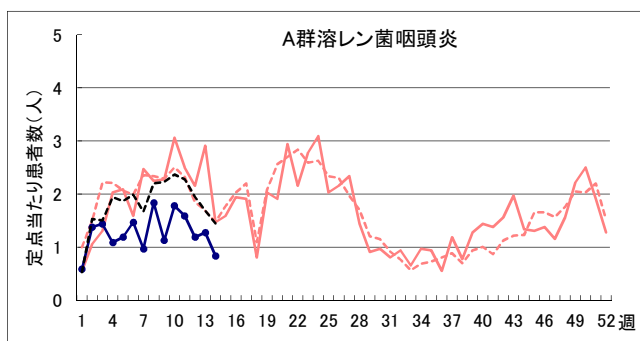
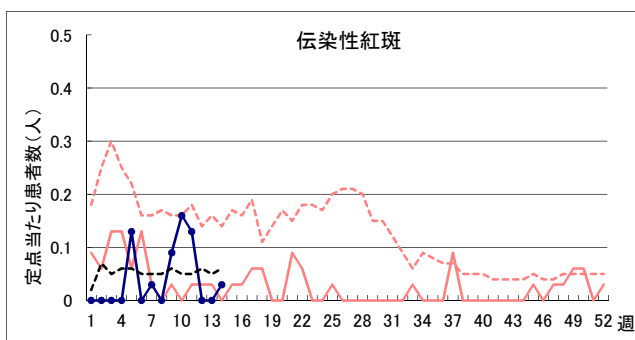
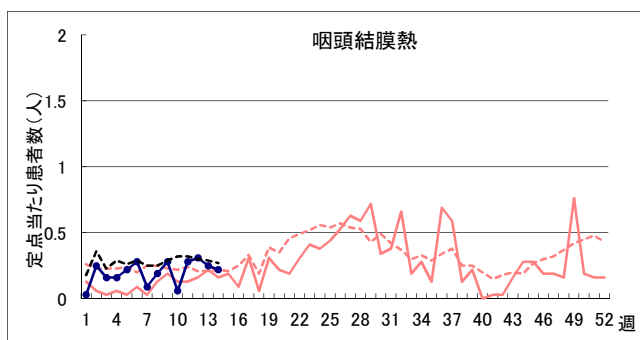
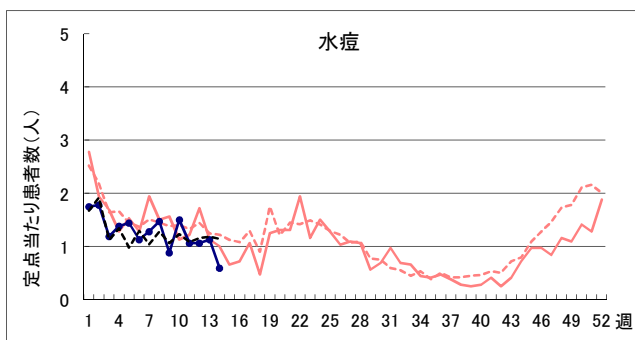
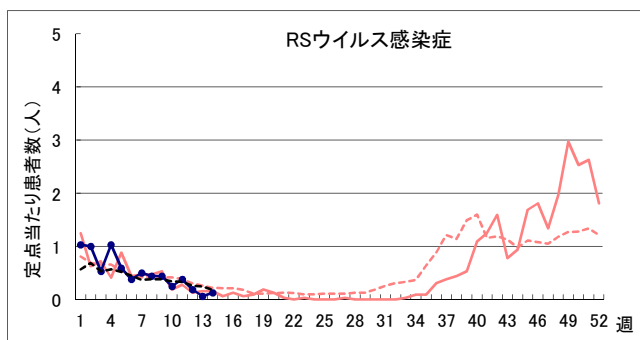
(2) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)が一部改正されました

- 平成25年3月4日から、4類感染症に「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」が追加されました。
- 平成25年4月1日から、5類感染症に「侵襲性インフルエンザ菌感染症」「侵襲性肺炎球菌感染症」が追加され、同じく5類感染症の「髄膜炎菌性髄膜炎」が「侵襲性髄膜炎菌感染症」に変更されました。

疾病別定点当たり患者数(平成25年第 1～14 週、2012.12.31～2013.4.7)



H25 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)
 H24 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)



疾病別定点当たり患者数 (平成25年第1~14週、2012.12.31~2013.4.7)

H25 〔滋賀 〇 全国〕 H24 〔滋賀 — 全国〕

